

陳 情 文 書 表

(令和6年9月18日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第96号(6.9.10) 王子プールの存続を求める陳情
陳情の要旨	1. 王子プールの存続を求める市民の声に答え、施設存続について市民参加の場を設けて議論し、従来の敷地で公営プールとして存続させることを神戸市に求めます。
陳情者の住所及び氏名	神戸市東灘区 蔵原詩織
送付委員会	経済港湾委員会

2024年9月10日

神戸市会議長

坊 やすなが 様

陳情者：

住所 神戸市東灘区

氏名 蔵原 詩織

電話番号



王子プールの存続を求める陳情

陳情趣旨

長く市民に親しまれてきた王子プールは先週9月1日に営業終了し、間もなく解体工事が開始されると聞きます。しかし、神戸市は生活福祉都市にふさわしく、今ここで立ち止まるべきです。私は現在の敷地での王子プール存続を求めます。以下、その根拠を挙げます。

1. この夏に寄せられた「王子プールをなくさないで！」署名総数は12,729筆に上ります（呼びかけ団体「王子公園・市民ミーティング」実行委員会、みんなの王子公園&動物園の会2団体による9月3日合計数）。署名活動を通じ、王子プールの存続を願う多くの方から切実な思いが寄せられました。「かけがえのない屋外プールをなぜ、なくすのか」と訴える1人ひとりの声に、神戸市はどう向き合うのですか。

2. 神戸市公式サイト内、王子公園再整備の「よくある質問」では、王子プールの廃止理由として「利用期間が夏期の2か月間に限定されることや、老朽化が著しいこと」を挙げておられます。しかし、利用期間は見直しの余地があり、老朽化した施設は改修可能です。これらは施設を廃止すべき理由ではなく、むしろ解決すべき課題なのではありませんか。

3. この再整備は性急に進められてきました。9月5日毎日新聞に掲載された、王子プール建材に含まれるアスベスト処理を巡っても、住民への事前説明に不備が指摘され、再整備を急ぐ神戸市の姿勢が浮き彫りとなっています。再整備素案の公表から今に至るまで、プールをはじめとする王子公園内施設の存続と廃止について、市民を交えた議論が十分に尽くされてきたと言えるのでしょうか。

このような点をふまえ、以下のとおり陳情します。

陳情事項

王子プールの存続を求める市民の声に答え、施設存続について市民参加の場を設けて議論し、従来の敷地で公営プールとして存続させることを神戸市に求めます。

以上